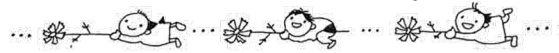




## 月見ヶ丘こどもの家



2023.9.1

園長 中江 祐

保護者の皆様には、いつも当園の運営にご理解とご協力いただきありがとうございます。

さて、9月に入っても猛暑が続いております。一体いつまでこの暑さが続くのか心配するほどです。何よりも子どもたちが熱中症にならないよう、水分補給や適切な空調管理に配慮しながら保育を進めています。また、台風もまたかとおもうほど多く発生し、8月には休所を余儀なくされるなど異常気象ともいべき状況が続いています。

園庭の草花も、この猛暑の中、気を遣って毎日水やりを欠かさずにやっていますが、どうも今年は元気がありません。例えば、今年の夏は5つも6つも実をつけたカボチャも、今年はサッパリです。でも、こうした現象も、ただ残念の一言に終わらせず、子どもたちが「どうしてだろう」と原因をいろいろと考えてくれているようで、それはとても嬉しいことではあります。

ところで9月1日は「防災の日」です。今から100年前の1923年に関東地方一帯を襲った大地震(関東大震災)では、死者行方不明者が14万人を超える未曾有の被害をもたらしました。これを教訓に、この日を「防災の日」と定め(1960年)、地震や台風、津波などの自然災害から身を守るための訓練や備えを職場・ご家庭でしておこうとするものです。月見ヶ丘こどもの家でも毎月避難訓練・消火訓練を実施していますが、こどもたちはいつも真剣に取り組んでくれています。避難する時の4原則をご存じでしょうか。毎回避難訓練の時に子どもたちに尋ねますが、しっかりと答えてくれています。(3歳・4歳・5歳児)一度、お子様に尋ねてみてください。



### 伊藤 ますみ先生のご様子について

保護者の皆様にご報告があります。

伊藤 ますみ先生の姿を最近見かけないと感じておられる保護者の方もいらっしゃると思います。実は、この猛暑が続く中、7月末に熱中症にかかられて救急搬送されるということがありました。ご高齢であられること考慮しますと、一時的に回復されたとしても油断をしてこのまま無理をしていたらダメなわけにも行かず、京都市地域包括支援センターとも連携をとりながら、法人傘下のシオンの里(高齢者介護施設)に緊急入所(ショートステイ)をしていただくことになりました。もちろんご本人も同意されてのことです。

京都市地域包括支援センターの職員の方々やシオンの里には、迅速に対応していただいたことに心から感謝いたします。

現在は健康を回復され8月下旬からは近隣のグループホームに移られて、元気に過ごしておられます。ただ、ご自宅に戻られる意思もなく、行き届いた介護を受けることができる施設でゆっくりと生活されることを、引き続き希望されています。

保護者の皆様方には、ますみ先生が落ち着かれてから改めてご報告させていただこうと考えておりましたので、ご心配をおかけしたことをお詫びいたします。

いずれにせよ、ますみ先生のお元気な姿を毎日拝見できなくなることは、とても淋しいことですが、親族の方々のお考えや、ますみ先生のご意思を尊重しながら、今後も安寧に生活されることを心から願っております。